

第52回冬季講習会

メタオプティクス

～メタサーフェスによる平面光学の基礎と応用～



主催：一般社団法人日本光学会

協賛：応用物理学会フォトニクス分科会、レーザー学会、電子情報通信学会、電気学会※、日本オプトメカトロニクス協会、日本フォトニクス協議会、光産業技術振興協会、計測自動制御学会、精密工学会、日本機械学会、日本分光学会、照明学会、画像電子学会、映像情報メディア学会、日本眼光学学会 ※依頼中

メタサーフェスやメタレンズに代表されるメタオプティクスは、ナノスケール構造体によって光の波面・偏光・振幅を自在に制御し、従来の屈折・反射光学を超える機能を実現する革新的な技術として、近年急速に発展しています。本講習会では、メタオプティクスの基礎理論から設計・シミュレーション手法、さらには実装・応用例に至るまでを体系的に紹介します。初日は基礎概念と設計・解析の方法論を中心に、二日目はイメージング、照明、バイオメディカル計測、光検出器などへの応用展開を取り上げます。学術界・産業界の第一線で活躍する講師陣により、メタオプティクス研究の最前線と今後の展望を幅広く共有し、研究開発の新たな指針をどうぞご活用ください。

日時：2026年1月28（水）、29日（木）（オンライン開催）

1月28日（水）

10:20~10:30	開会の辞 日本光学会会長	大谷 幸利（宇都宮大学）
10:30~12:00	メタオプティクスの基礎・現状と展望	岩見 健太郎（東京農工大学）
12:00~13:00 < 昼食 >		
13:00~14:00	光線追跡を使ったメタレンズの設計手法	稻 秀樹（宇都宮大学）
14:00~15:30	ミートロニクス～ミー共振型メタサーフェスの原理と機能	高原 淳一（大阪大学）
15:30~15:40	< 休憩 >	
15:40~16:40	逆設計ツールを用いたメタサーフェスと光導波路デバイスの設計方法	ユン デヨル (キーサイト・テクノロジー)

1月29日（木）

10:30~12:00	メタオプティクスとイメージセンシング応用	宮田 将司（NTT）
12:00~13:00 < 昼食 >		
13:00~14:00	広角メタレンズとその照明応用	鳥羽 英光（ニコン）
14:00~15:30	メタサーフェスの光通信応用	種村 拓夫（東京大学）
15:30~15:40 < 休憩 >		
15:40~16:40	メタオプティクスが拓くバイオメディカル計測の原理と応用	矢野 隆章（徳島大学）
16:40~17:40	メタサーフェスを実装した光検出器	上野山 聰（浜松ホトニクス）
17:40~17:45	閉会の辞 実行委員長	岩見 健太郎（東京農工大学）

申込方法：日本光学会冬季講習会ウェブサイト（<https://winter-symp2026.award-con.com>）内の参加登録フォームよりお申し込みください。

参加費：日本光学会個人会員	20,000円
日本光学会賛助会員・協賛会員個人会員	25,000円
日本光学会学生会員	1,000円
非会員	40,000円
学生非会員	3,000円

参加費のお支払い：クレジットカード払いのみとさせていただきます。

※日本光学会の行事参加割引券（日本光学会賛助会員対象）をご利用いただけます。請求書ならびに領収書は参加登録システムよりPDFで発行いたします（原紙郵送はいたしませんのでプリントアウトしてお使いください）。原則として参加費の払い戻しは致しません。

申込締切：2026年1月16日（金）12:00（予定）

お問合せ（申込）：日本光学会事務局 E-mail: info@myosj.or.jp

（内容）：実行委員長 東京農工大学 岩見 健太郎 E-Mail: ws2026@myosj.or.jp